

「保育職場ハッピー大作戦！」チーム だより

福島市・保育士の働きやすい職場づくり事業通信 vol.3

令和4年1月6日 発行

こんにちは！福島市幼稚園・保育課『保育職場ハッピー大作戦！』チームです！

新型コロナウイルス対策が通常の業務に加わり、日々忙しい中で保育を行っている保育士の皆さん。今回は、そんな中でも休憩時間を確保する各施設の工夫や取り組みをご紹介します。

ぜひ取り組みを参考にいただきながら、出来るところから「働きやすい職場」を目指していきましょう！！

こんなお話、聞きました！

今回のテーマ『休憩時間』

R3.6~R3.11 訪問施設より

休憩時間⇒「労働時間の途中で休息のために労働から完全に解放されることを保障された時間」

保育の質の確保のためにも、必要な時間です。

休憩時間確保のため、さまざまな取り組み・工夫をしている施設の声をご紹介します。



【施設長の意識】

☆事務を簡素化したり、書類作成や保育準備の時間を各クラスでバランスよく取れるようにしたりすることで、休憩時間に事務仕事をしないようにしている。

☆午睡中の保育担当となる職員のタイムスケジュールを明確にし、担当以外の時間には意識して休憩を取れるようにしている。

☆消毒・清掃の担当を日替わりで決めたり、時間を工夫したりして、休憩時間を確保できるようにしている。

【職員の気持ち】

☆休憩を30分別室で取ることができ、他のクラスの先生と話ができる。その時間が自分の学びにもなっている。

☆休憩時間があることでリフレッシュできる。保育室から離れて休憩することでほっとでき、新たな気持ちで保育に戻ることができる。

☆参考にしてみませんか！☆

○午睡担当の保育士を決め、担当以外は休憩へ！（まずは10分だけでもほっと一息！）

○欠かせない消毒や清掃は分担して。

○『ノンコンタクトタイム』をつくってみよう！

※ノンコンタクトタイム…勤務時間中子ども達から離れて、保育以外の業務を行う時間のこと。

ノンコンタクトタイムを作ることで、事務に集中する時間ができ、効率もUPします。

事務時間と休憩時間にメリハリをつけてみませんか！

時間・場所・人員など、施設によって様々な環境があると思いますが、常に子どもと関わり見守っている先生方が、ほっと一息ついて、“また頑張ろう”と思えるような時間を作ることが大切で、そこでの気持ちの切り替えが保育の質の向上にもつながるのではないかと感じました。



ご協力ありがとうございました！

10月20日～11月16日にかけて4施設を訪問させていただきました。

大変お忙しい中、施設長並びに保育士の皆様、本当にありがとうございました！！

Ribbon保育園かまた ほくしん保育園 ベビーホームゆりかご ちゅうりつが保育園（訪問順）

